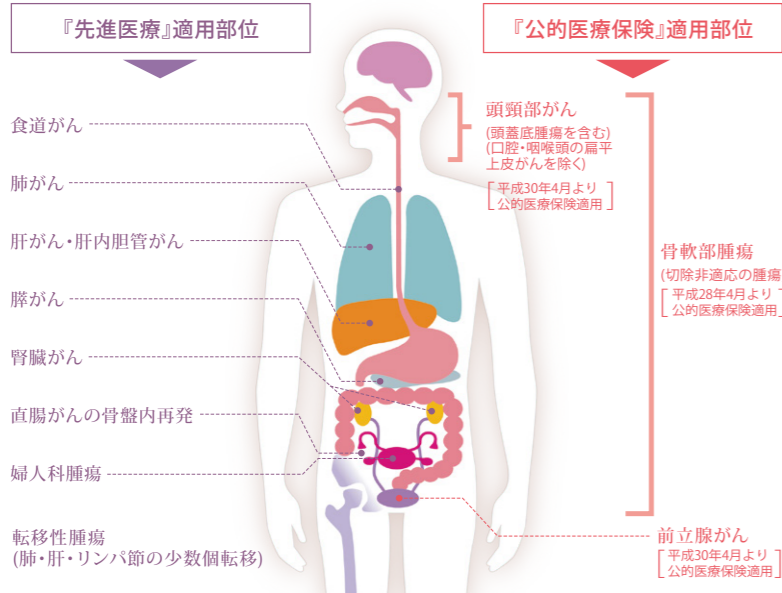


治療の可能性が広がります

【重粒子線がん 治療の対象となるがん】

【対象部位】

重粒子線がん治療の対象となるのは、ひとつの部位に留まっている固形のがんです。



【治療の対象とならないがん】

- 白血病のような血液のがん
- 広範な転移のあるがん
- 胃がん、大腸がんなど不規則に動く臓器のがん など

【治療費】

2016年4月からの切除非適応の骨軟部腫瘍に続き、2018年4月からは前立腺がんと頭頸部がんの一部が公的医療保険に適用されました。それ以外の治療については、先進医療として継続されます。

※公的医療保険制度については、平成30年4月現在の制度によります。今後、制度の変更に伴い、記載の内容が変わることがあります。現在では民間保険会社から、先進医療の費用を保障する保険商品が多数販売されています。詳しくは、各保険会社へお問い合わせください。

■切除非適応の骨軟部腫瘍(2018年4月～)

公的医療保険適用	
(重粒子線治療)	(診察・検査・薬代など)
骨軟部・頭頸部 237万5千円 前立腺 160万円 (照射回数によらず)	
自己負担* (3割)	保険給付 (7割)

■上記以外の腫瘍

先進医療部分	公的医療保険適用部分	
(重粒子線治療)	(診察・検査・薬代など)	
314万円		
自己負担 (10割)	自己負担 (3割)	保険給付 (7割)

※公的医療保険の場合、高額療養費制度の利用も可能です。
※公的医療保険適用部分の自己負担割合は、年齢等によって異なります。

サガハイマツ通信

Vol.24

(2019年4月号)

治療患者数が3500人を超える



新年度ごあいさつ



公益財団法人
佐賀国際重粒子線がん治療財団
理事長 中川原 章

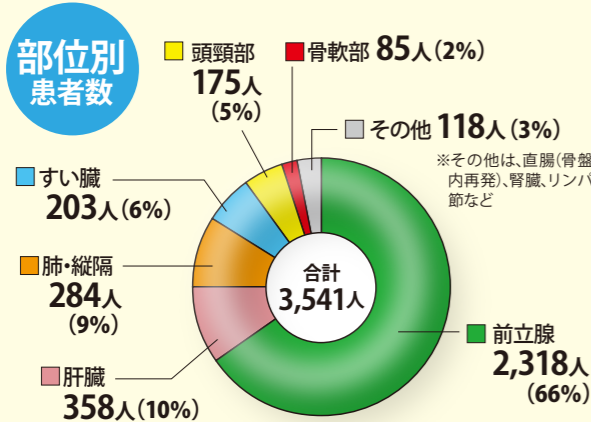
九州初となる重粒子線によるがん治療施設「九州国際重粒子線がん治療センター」(愛称:サガハイマツ)は、2013年5月の開設以来、2019年3月末日まで3,500人を超える患者さんの治療を行いました。2018年度の治療患者さんの数は約958名に達し、昨年4月の診療報酬改正に伴い適用拡大された前立腺がんと頭頸部がん(一部)により、前年度に比べて患者数が約1.5倍となりました。このことは、重粒子線がん治療が国民にとってより身近な治療法となり、今後も求められるがん医療としてさらに発展することを期待されているものと、がん治療におけるこの施設の意義の大きさを改めて認識する次第です。

これからもサガハイマツの治療を必要とされる患者さんは増加していくことと想われますので、これに対応していく為に医師、放射線技師、看護師の医療スタッフの増員や施設の拡充・利便性の向上を計画的に行ない診療体制全体の強化を行っていく予定です。

サガハイマツは、これからもチーム医療を心掛け、治療実績を着実に積み重ね、心と体にやさしい最先端がん治療を皆様に提供していきますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

データで見るサガハイマツ

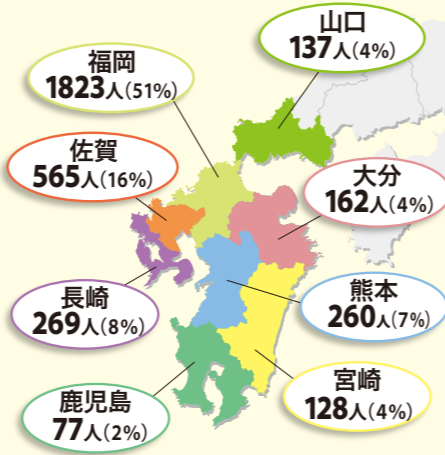
(2019年3月末日現在)



地域別患者数

その他の地域 120人(3%)

※東京、広島、沖縄、愛媛、愛知、大阪、高知、埼玉、京都、島根、岡山、神奈川県、北海道、栃木、兵庫、群馬、三重、富山、静岡、奈良、海外(中国、台湾、韓国)



●寄附をお願いします●

佐賀国際重粒子線がん治療財団では、引き続き皆さんからの寄附を募集しています。県内、ひいては九州のがん医療の充実につながるサガハイマツへのご支援をよろしくお願いいたします。

なお、当財団へご寄附をいただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として、税制上の優遇措置があります。詳しくは、当財団までお問い合わせください。

サガハイマツ通信 Vol.24

(2019年4月号)

【お問い合わせ】

発行 ■ 公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団 (担当)本村
所在地 ■ 〒841-0071 佐賀県鳥栖市原古賀町 3049 番地
TEL ■ 0942(81)1897 FAX ■ 0942(81)1905
HP ■ <http://www.saga-himat.jp/>



サガハイマツは、九州国際重粒子線がん治療センターの愛称です

サガハイマツの受診に関する相談窓口

電話 0942-50-8812

(受付時間:平日の9時~17時)

メール saga-himat@saga-himat.jp

九州国際重粒子線がん治療センター(愛称:サガハイマツ)

治療予約だけでなく 電話でも相談に対応

地域連携室
インタビュー



大鶴晶子看護師 岸川亜里沙室長

九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)を受診する際、患者や医療機関からの連絡を受ける窓口となるのがセンター内にある地域連携室。現在、2人の看護師が常時業務に当たっています。業務内容をはじめ、受診予約をする時の注意点などについて、地域連携室の岸川亜里沙室長と大鶴晶子看護師に聞きました。

▼地域連携室とはどのような部署ですか。

「サガハイマツで治療を受けたい」「自分のがんは治療できるか」といったご相談や初診の予約などを受ける窓口になります。患者さんご自身やご家族、かかりつけの医療機関などからの電話を受けていて、2人で対応しています。電話は平日9時から17時まで、昼休みの時間帯も受け付けています。土日、祝祭日は対応していません。メールでの対応は1週間以内に返信できるよう努めています。

予約の電話の多くは患者さんやご家族からのため、焦らせないようにゆっくり話す、必ず復唱して確認する、などに気を付けています。ただし地域連携室は「重粒子線治療できる」と断言できる部署ではありません。重粒子線治療が可能かの判断は、診察を受けてからになります。

▼予約をする際に注意しておくべきことは、電話は本人以外でもいいですか。

CTやMRI画像、血液や組織検査など、かかりつけの医療機関での検査結果をご準備いただくと、スムーズに聞き取りやご説明ができます。初診予約の際はかかりつけの主治医の紹介状とあわせて検査結果をご提出いただく必要があります。なお、病状の説明ができる方であれば、患者さん以外からの電話でも予約やご相談は対応可能です。

▼サガハイマツで、セカンドオピニオンはできますか。

利用できます。なお、この場合も病状がわかる資料や検査結果を基に相談を受けることとなりますので、かかりつけの医療機関にご相談の上、資料や検査結果をご準備ください。セカンドオピニオンは初診と同様、月曜、水曜、金曜の午前中に実施しています。

▼改めて重粒子線治療の特長を教えてください。治療できるがんはどんなものですか。

重粒子線は、がんだけを集中的に狙い撃ちすることができます。そのため周囲の臓器への影響を最小限に抑えることができ、副作用が少なく体に優しい治療です。また、がん細胞を殺傷する力が強く、エックス線など従来の放射線治療が効きにくいとされてきたがんに対しても効果が期待できます。体を切らずに済むため、仕事や日常生活への影響が少ないことも特長です。

治療対象のがんは、ひとつの部位に留まっている固形のがんとなります。具体的には前立腺がん、肺がん、肝がん、膵がん、頭頸部腫瘍や骨軟部腫瘍などです。一方、白血病のような血液のがん、広範囲に転移のあるがん、胃や大腸など不規則に動く臓器のがんは重粒子線での治療ができません。

患者さんの気持ちに寄り添う

▼予約の電話から初診までにどれくらいの期間が掛かりますか。

一般的に、お電話をいただいてから2～4週間で初診ができるよう調整しています。開設当初に比べ、重粒子線治療がより多くの人に身近な医療として捉えていただけるようになったこともあり調整は大変ですが、なるべくお待たせしないよう努力しています。

また、初診から1回目の照射まで、患者さん専用の固定器具作成を含めて1カ月程度必要です。電話予約の際に患者さんが、半年待ちと聞いていたと話されることもあります。前立腺がん治療の場合、重粒子線治療による効果を高めるため、照射開始に先立ち3カ月から半年ほどホルモン療法を行っていただくことがありますので、そのケースのことを予約と混同されていたのではないかと推測しています。しかし、この場合も治療自体は始まっていることとなります。

▼重粒子線治療は治療費が高いと聞きました。

前立腺がんや頭頸部腫瘍、骨軟部腫瘍の一部については、公的医療保険の適用になっています。そのため、それぞれの保険負担割合に治療費を掛け合わせたものが自己負担額となります。例えば、前立腺がんの治療費は160万円ですが、保険負担が3割の方であれば48万円が自己負担額です。さらに、高額療養費制度を利用すると、平均的な年収の方の場合、約10万円が実質的な自己負担額となります。

また、公的医療保険適用である三つのがん以外は

先進医療での治療となるため、治療費である314万円が全額自己負担額となります。この場合、ご自身で民間保険の先進医療特約などに加入されていれば自己負担額を抑えることができます。なお、佐賀県に1年以上在住している方が重粒子線をはじめとする先進医療を受けた際、治療費の10分の1(上限30万円)の助成を受けたり、治療費を金融機関から借り受けた場合の利子が補給される制度もあります。

▼最後にメッセージを。

表に出ない部署ではありますが「最初に電話した時に、相談に乗ってもらってうれしかった」と言ってくださる方もいて喜びを感じます。電話をくださった方が重粒子線治療の対象となり、元気になっていく姿を見るのは何よりうれしいですね。

九州で唯一の重粒子線治療施設のため、まだ治療方法や重粒子線治療が適応となるがんなどについてご存知ない方もいらっしゃると思います。また、がんにかかっていない方からお電話を受けることもあります。多くの方に寄り添った対応ができるよう地域連携室は2人体制としています。重粒子線治療について気になることがあれば、質問なども含めお気軽にお問い合わせください。



受診の予約や相談などに対応する地域連携室。電話・メールで受け付けている。